稀代の戦後政治家　麻生太郎について

法学部政治学科二年 No.31761502 星野寛人

●はじめに

今回のレポート作成にあたって僕は麻生太郎を選んだ。麻生太郎のイメージは政治家としては世間の中での評価はそこまで高くないのかもしれない。というのも、首相時代の就任期間は短く、メディアに対しての受け答えもとてもぶっきらぼうであり、特に2018年に入っての主要な政治トピックであった森友問題の証人喚問では太田理財局長が出てくる問題への対応に追われて、連日のように対応に追われ、連日のように国会で陳謝、陳謝と深々と頭を下げているのとは対照的に、財務大臣であった麻生氏が頭を下げる気配は一向になく、見ている人には不遜で傲慢な印象が強かっただろう。しかし、彼の経歴を見てみると、日本の政治家には珍しく実業家の経験があり、まさかの元五輪選手という経歴がある。経歴とともに彼がどんな政治家なのかを紐解くとともに、彼の政治家としての役割や存在意義を記していきたいと思う。

●麻生太郎のキャリア：麻生内閣時代まで